

# 2024年滋賀国体・全国障害者 スポーツ大会に向けた財政支援

3 すべての人に  
健康と福祉を



11 住み続けられる  
まちづくりを



【提案・要望先】総務省、財務省、文部科学省

## 1. 提案・要望内容

### 地方が行うスポーツ施策推進や、スポーツ施設の整備・改修等 に対する財政措置の拡充

- 国体・全国障害者スポーツ大会運営費に対する支援の充実と財源の確保
- 公立スポーツ施設の整備に対する支援制度の充実と財源の確保
- 事業費に対する地方債の充当率の嵩上げ、元利償還金に対する地方交付税上の措置の充実
- 国体への民間資金の導入を促す取組の充実

#### <概算要求等の状況>

【文部科学省】スポーツ施設環境整備事業費補助金 H29 予算 24 億円

※H30 概算要求額は、学校施設環境改善交付金 1,527 億円の内数のため公表なし  
(学校施設環境改善交付金は前年度とほぼ同等)

## 2. 提案・要望の理由

- 各地方におけるスポーツ推進の基盤整備は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催の効果が地方に波及し、根付くためにも、国全体で取り組むべき喫緊の課題
- 国民体育大会（国体）および全国障害者スポーツ大会が、地方のスポーツ推進において果たす役割は大きいものの、施設整備を含む開催に要する経費の大部分を開催地の都道府県と各競技会場地となる市町村が負担
- 本県における2024年の国体・全国障害者スポーツ大会開催を、県民のスポーツ推進・健康増進につなげるためにも、誰もが気軽に利用できるスポーツ施設の整備・充実が不可欠
- 国体の活性化と大会運営に係る開催地の財政負担軽減のため、大会への民間活力の導入を促進することが重要

## (本県の取組状況と課題)

### 競技会場の選定をはじめとする、国体・全国障害者スポーツ大会開催準備の推進

- ① 38の正式競技・特別競技のうち、約7割の競技会場を内定済(H29.7)
- ② 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクターを決定(H29.6)
- ③ 大会機運醸成に向けた広報活動・大会に向けた施設整備・競技力向上に充当するための寄附金募集を継続して実施
- ④ 子どもや若者の視点や発想を活かし、開催準備や県のスポーツ振興に関する課題等について調査研究する「ジュニア・ユース事業」を実施(第1期:湖上スポーツ、第2期:スポーツボランティア、第3期:パラスポーツ、第4期:大会のPR大作戦)



大会マスコットキャラクター  
チャップフィー キャップフィー



ジュニア・ユース事業(第3期パラスポーツ/第4期大会のPR大作戦)



横断幕の掲出

### 国体・全国障害者スポーツ大会開催を見据え、スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！を基本方針の1つとする第2期滋賀県スポーツ推進計画を策定中



9.98秒 日本新記録の桐生祥秀選手  
スポーツ大賞最高栄誉賞受賞



世界水泳200M個人メドレー銀メダリスト・  
日本新記録の大橋悠依選手 スポーツ大賞  
受賞、スポーツ大使就任

#### 基本方針3

- 国体・全スポ等に向けた競技力向上と競技者の拡大
- ・ジュニア、成年、オリ・パラ候補、女性アスリートおよび障害者スポーツ選手の育成・強化
- ・指導者の確保、養成および資質の向上など指導体制の充実
- ・強化拠点の構築・施設の整備、医科学サポート体制の充実
- 地域の特性を活かした大会レガシーの創出
- ・市町と連携したシンボルスポーツの創出
- ・継続してスポーツに親しめる大会運営等のノウハウ継承
- ・ボランティアの活動の場の提供と、仕組みや体験の継承等のスポーツボランティア活動の取組

#### SDGsとの関連

- 全ての人の健康的な生活の確保に寄与(目標3)
- 全ての人が住み続けられるまちづくりに寄与(目標11)